

# 丹波地域環境パートナーシップ会議情報誌 Vol.2



## 内容



丹波地域の珍しい動植物紹介…2～4p



## 活動報告

- 「国蝶オオムラサキの放蝶会の報告について」
- (公財)兵庫丹波の森協会丹波の森公苑…5p
- 多紀連山のクリンソウを守る会…6p
- 「丹波地域環境パートナーシップ会議第二回総会」
- 丹波県民局環境課…7p



## お知らせ

活動紹介の動画を作りました！



編集・発行

丹波地域環境パートナーシップ会議

事務局：兵庫県丹波県民局県民交流室環境課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原 688

☎0795-73-3774 FAX 0795-72-3013

☆皆様からの寄稿、ご意見、ご感想などお待ちしております！



# 丹波地域の珍しい動植物



丹波地域には、兵庫県でも珍しい動植物が沢山存在しています。そういった動植物をこの情報誌では少しずつ紹介していきます！情報誌で掲載するレッドデータブック掲載の動植物以外にも、丹波地域には様々な希少な動植物が存在しています。是非、探してみましょう！



その前に！  
そもそも



兵庫県レッドデータブック Bランク バイカモ  
(丹波市青垣町内にて撮影)

## 兵庫県レッドデータブックって何??

レッドデータブックは、絶滅のおそれのある野生生物などをリストアップして、その現状をまとめた報告書です。

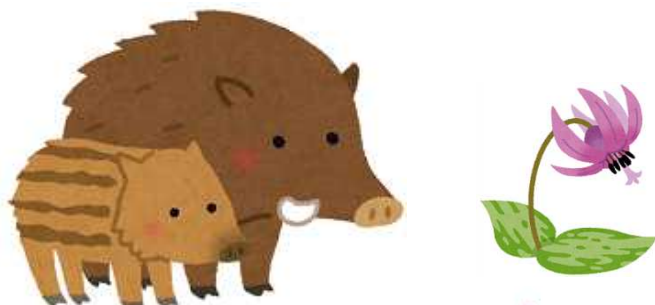
兵庫県では、絶滅の危機にある貴重な野生生物、地形、地質、自然景観などを保全し、生物多様性を確保するため、平成7年に他県に先駆けて、「兵庫の貴重な自然 ー兵庫県版レッドデータブックー」を作成しました。

生物多様性の保全に対する関心が高まる中、前回の改訂から6年余りが経過し、新たな生物情報の蓄積が進んできたことから、平成21年3月に策定した「生物多様性ひょうご戦略」に基づく行動計画の重要な柱として、平成21年度からレッドデータブック改訂に着手しています。

**A ランク**…環境省レッドデータブックの絶滅危惧 I 類に相当。兵庫県内において絶滅の危機に瀕している種など、緊急の保全対策、厳重な保全対策の必要な種。

**B ランク**…環境省レッドデータブックの絶滅危惧 II 類に相当。兵庫県内において絶滅の危険が増大している種など、極力生息環境、自生地などの保全が必要な種。

**C ランク**…環境省レッドデータブックの準絶滅危惧に相当。兵庫県内において存続基盤が脆弱な種。





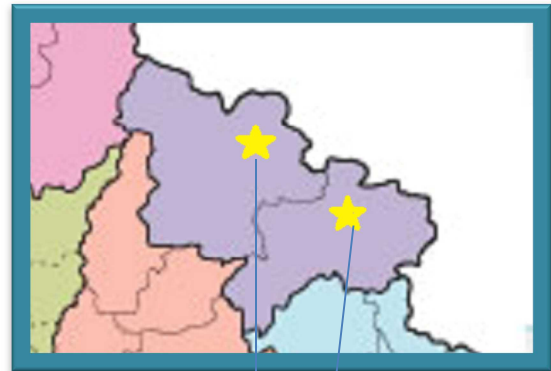
# 植物編

## クリンソウ

(兵庫県レッドデータブックBランク)



サクラソウ科の多年草。山間地の比較的湿潤な場所に生息し、時に群生する。花は花茎を中心に円上につき、それが数段に重なる姿が仏閣の屋根にある「九輪」に似ていることが、名前の由来になっている。篠山市では多紀連山に、丹波市では市島町の鴨庄地区妙高山に、それぞれ群生地が存在する。



主な生息地 丹波市…市島町妙高山  
篠山市…多紀連山

活動団体  
篠山市：多紀連山のクリンソウを守る会  
丹波市：妙高山のクリンソウを守る会

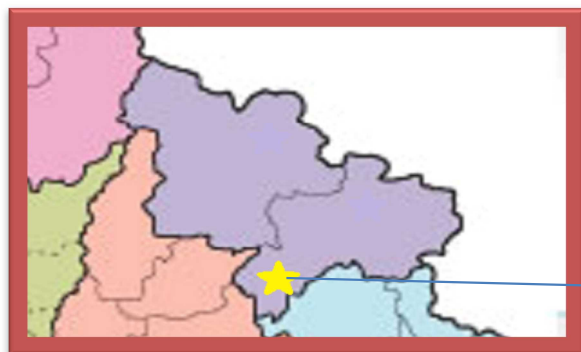
## サギソウ

(兵庫県レッドデータブックBランク)

ラン科の多年草。7月～8月にかけて花を咲かせる。花が開いた様子が、シラサギが飛び立つ様子に見えることからサギソウと名前がつけられた。篠山市今田町の町花でもあり、今田町に自生している。



活動団体  
篠山市サギソウ保存会



主な生息地  
篠山市今田町の一部

## 魚編

### ホトケドジョウ

(兵庫県レッドデータブック A ランク)

ドジョウ科。青森県を除く東北地方から京都府、兵庫県に分布している。兵庫県では丹波市の5か所のみ<sup>に</sup>生息し本州の西限になっている。体長は6cmほどで、8本の口ひげを持つ。湧水が流れ込む水田の水路などに生息する冷水性の魚で近年は水路整備などの開発により生息数が激減している。



活動団体  
丹波市：丹波地域のホトケドジョウを守る会

生息地域：丹波市氷上町の一部

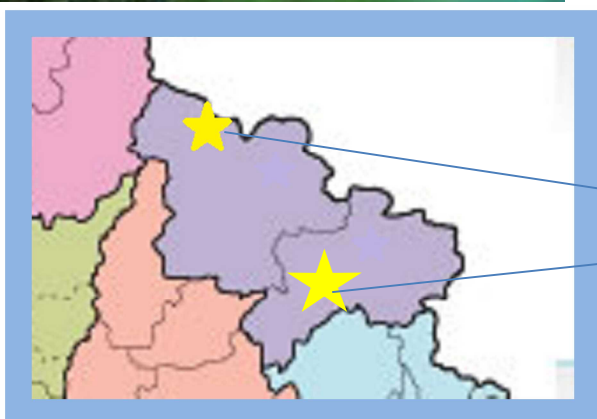


### オヤニラミ

(兵庫県レッドデータブック B ランク)



スズキ目の淡水魚。丹波地域では古くから加古川や篠山川などで見られ、「ヨツメ」とも呼ばれてきた。<sup>えらぶた</sup>鰓蓋の端にある縦長の斑紋が特徴的。雌が水草の茎に産卵し雄が卵を守り孵化まで世話を<sup>する</sup>。



【主な生息域】  
丹波市：加古川(佐治川)流域  
篠山市：篠山川流域 など



## 国蝶オオムラサキの放蝶会の報告について



丹波の森公苑では、日本昆虫学会が定めた国蝶でもあり、準絶滅危惧種として生息数が少ないオオムラサキが、丹波地域にも生息しており、里山にふさわしい生き物でもあること、また、河合雅雄名誉公苑長の提唱により植えられたエノキやクヌギが生育し、オオムラサキを飼育できる環境が整ったことから、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻すため、平成 17 年からオオムラサキの飼育を始めました。

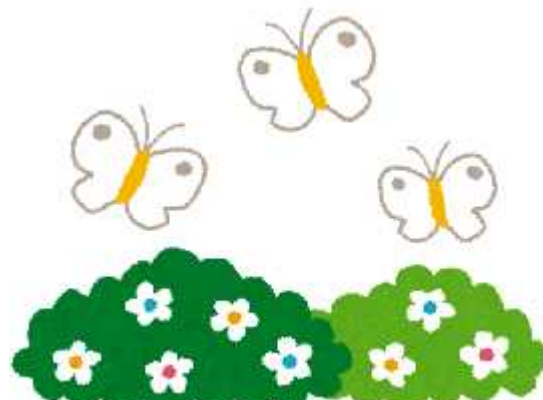


平成 26 年 7 月 12 日(土)に丹波の森公苑において、兵庫丹波オオムラサキの会と共に第 6 回国蝶オオムラサキの放蝶会を開催しましたが、阪神地域や姫路等遠くからの来苑者も含め約 120 名の参加がありました。

オオムラサキについての説明のあと、今回は 65 匹のオオムラサキを放蝶しましたが、これまでの放蝶により、丹波の森公苑内に多数のオオムラサキの幼虫が越冬していることが確認

されており、成虫の目撃例もあることから、少しずつではあるが、オオムラサキが増えてきています。

また、丹波の森公苑は丹波地域の 18 小学校、1 高校、3 施設で行っているオオムラサキの飼育も支援しています。オオムラサキの飼育に必要なエノキやクヌギ・コナラ等が多い地域ではオオムラサキが棲息できる可能性が高いので、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う日も遠くないのではないのでしょうか。





多紀連山のクリンソウ群生地が、平成 19 年(2007 年)6 月に発見されてから、本年度で丸 7 年が経過した。そして平成 21 年(2009 年)5 月に一般公開を行ってから、5 年となる。

発見当初は、4ha の土地に 14 万株が群生しているといったとおり、一面にクリンソウが咲き誇っていた。

年数を経るごとに、群生に変化が現れ、数が減っているところ、逆に生えてきたところが見られる。相対的に今は減少傾向にある。

クリンソウの生態把握に努めており、その結果は更に観察を続ける必要があると思っているが、今のところクリンソウは複数年感覚で衰退を繰り返すのではないかと考えている。

これまでの観察で、クリンソウは水と太陽を好むことがわかって

いる。これらのことを踏まえて、私たちは、年間を通じて保護活動を実施している。

その主なものは、次のとおりである。



定点観察



城北畑小学校課外教室



現地パトロール

- ①定点観察(3 月、5 月、6 月、8 月、11 月)
- ②定点パトロール  
(5 月の開花時期だけでなく年間を通じて)
- ③遊歩道の整備(杭を打ちロープを張る)  
人力で運び挙げ、現地にテントを張り必要資機材を備蓄
- ④周辺環境の整備(案内看板の設置、障害樹木の伐採など)
- ⑤保護保全の必要性を啓発(各種広報チャンスを利用)
- ⑥地元団体との連携(みたけの里づくり協議会など)
- ⑦地元小中学校との交流
- ⑧他の保護団体との交流(見学)、情報交換
- ⑨総会、講演会の開催(年 1 回)
- ⑩会報「多紀九輪の花畠」の発行(年 1 回、今年度第 6 号発行)  
保護活動、これからが正念場である。





## 丹波地域環境パートナーシップ会議第二回総会



平成26年11月20日(木)に丹波市立柏原住民センターで、丹波地域環境パートナーシップ会議第二回総会、活動報告会及び講演会を行いました。

総会では、昨年度に引き続いて樋口清一様を会長、長井克己様を副会長とし、昨年度の活動報告を行い、今年度の活動計画について皆様の了承をいただきました。

第2回目となる今回、「昆虫」をテーマとし「鴨庄オオムラサキ飼育の会」「丹波篠山自然塾むしクラブ」「森のホタル調査隊 in 丹波」の3団体の代表の方に活動報告を行っていただき、兵庫県立人と自然の博物館主任研究員の八木剛先生に「昆虫を通してみる丹波の地域環境」という演題で講演を行っていただきました。「楽しんでいるこどもたちの姿がとても良かった」と講演にも沢山のご好評をいただきました。今年もまたエコツアーなど計画していきますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします。



鴨庄オオムラサキ飼育の会  
活動報告より



兵庫県人と自然の博物館  
八木剛先生





お知らせ

丹波県民局環境課

丹波地域の環境に関する活動を行っている団体の動画を作成しました！



「篠山市サギソウ保存会」「日本野外生活推進協会(ムッシの会)」の2団体の皆様にご協力いただき、丹波地域の環境に関する活動を行っている団体の動画を作成し、ひょうごチャンネルに公開しました！  
昨年度は「多紀連山のクリンソウを守る会」「南新町美しいまちづくりの会」の皆様にご協力いただき、動画を作成しました。

また、24年度は「丹波地域のホトケドジョウを守る会」「丹波佐治川自然の会」の皆様にもご協力いただき、動画を作っています。ぜひご覧下さい！



次号予告

- 丹波地域の希少な動植物紹介
- 交流促進パワーアップ事業報告会
- etc...



発行時期：春～夏頃(予定)